

## IV 具体的な施策と重要業績評価指標

### 基本目標1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり

#### 1 施策の基本的方向

本市において、子どもを産み育てたいという希望を実現するため、これまでも子どもの成長に合わせて母子保健対策、多様なニーズに応じた保育サービスの提供、子育てへの経済的支援及び学力向上対策等、様々な施策に取り組んでおり、引き続き、子育て支援や学び環境の充実に努め、「子育てや学びがもっと楽しくなるまち」を目指す。

また、結婚しない男女の比率が高くなっているものの、市民アンケート調査の結果では、未婚者の約6割が将来結婚を希望していることから、結婚を支援する施策も合わせて講じることにより、住んでみたい住み続けたい魅力あるまちを実現し、少子化を克服する。

数値目標	基準値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
「子育てが楽しい」と回答する割合	97.8%	100%
「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	小学校 93.3% 中学校 80.5%	小学校 100% 中学校 100%

SDGsにおける目標				
------------	---	---	---	---

#### 2 具体的な施策とKPI（重要業績評価指標）

##### （1）結婚・出産・子育てなどの支援

- 結婚の希望がかなえられるよう、婚活イベントの開催支援等を行う。
- 子育ての不安を和らげ、子育てに夢と希望が持てるように、本市の子育て施設や支援制度に関する情報提供とともに、本市で実際に子育てをしている人からの情報発信を行う。
- 子育て支援センター、ファミリーサポートセンター事業、放課後児童クラブの充実に図り、地域をはじめ身近な場所での子育て支援を行うとともに、子ども子育て総合支援センターを拠点に、妊娠、出産、子育て期にわたる切れ目のない相談・支援を実施する。
- 子ども医療費の助成等、子育てにかかる経済的負担の軽減を図る。

○安心して妊娠・出産ができるための健康診査、教室の実施、子どもの発達や障害等の早期発見と対応につながる乳幼児健康診査の実施等、親と子の健康支援を実施する。

○働き方改革や女性活躍等を後押しするため、男性の積極的な育児及び家事への参画を促す。

○困難を抱える子ども・若者やその家族を専門的に支援する体制を整え、安心できる居場所や活動の場の充実を図る。

具体的な施策	施策の内容	K P I (重要業績評価指標)
結婚に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女出会いイベントの開催支援</li> <li>・未婚男女のマッチング事業への実施支援</li> <li>・婚活セミナー事業の開催支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女出会いイベント年間開催数 8件 (H30年度実績4件)</li> </ul>
子育て支援サービス等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、幼稚園、認定こども園での幼児教育・保育の充実</li> <li>・特色ある幼児教育・保育の推進</li> <li>・延長保育、一時預かり、休日保育、病児・病後児保育など多様な保育サービスの展開</li> <li>・土曜開設に対応した子育て支援センターの運営</li> <li>・ファミリーサポートセンター事業の実施</li> <li>・スマートフォンに対応した子育て情報ちやいる.comでの情報提供</li> <li>・LINEアプリを活用した子育て支援の充実</li> <li>・子ども及び妊産婦医療費の助成</li> <li>・第3子以降の保育料無料化</li> <li>・不妊・不育治療費の助成</li> <li>・放課後児童クラブ等の環境整備</li> <li>・子ども子育て総合支援センターを拠点とした相談・支援の実施</li> <li>・赤ちゃんの駅<sup>10</sup>事業の実施</li> <li>・産後家事サポート事業の充実</li> <li>・飲食店等の店舗における育児スペース確保に対する支援</li> <li>・ベビーファースト運動<sup>11</sup>の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日保育実施保育園数 10園 (H30年度実績9園)</li> <li>・子育て支援センター(市内9か所)の年間利用者数 55,000人 (H30年度50,122人)</li> <li>・射水市子育て支援センター利用者満足度 100% (R1年度89.0%)</li> <li>・<u>子育て情報ちやいる.comアプリのインストール数(累計)</u> 2,000件 (H30年度実績729件)</li> <li>・赤ちゃんの駅設置箇所数 45箇所 (H30年度実績37箇所)</li> </ul>

<sup>10</sup> 赤ちゃんの駅：外出先で授乳やおむつ替えができるスペースを兼ね備えた施設、店舗等

<sup>11</sup> ベビーファースト運動：個人・企業・団体・行政と連携し、子どもをより産み育てやすい社会の実現を目指す運動

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園等におけるICT化の推進による利便性の向上</li> <li>・【新】こども家庭センターの設置・運営</li> </ul>	
男性の育児・家事参画促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の育児休業取得を促進</li> <li>・男性が積極的に家事・育児に参画する機運の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の育児休業取得率 20% (H30年度実績 18.9%)</li> </ul>
親と子の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査、育児相談・教室、訪問指導、むし歯予防教室、要観察児の相談・教室、予防接種等の実施</li> <li>・母子総合相談室での妊娠期から子育て期までの総合相談支援の実施</li> <li>・いみずママベビサポートによる妊娠から乳児期までの支援体制の充実（産前・産後サポート事業、産後ケア事業、産婦検診等）</li> <li>・子ども発達相談室における保護者支援の実施（しえあタイム、おしゃべりほっとサークル）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳6か月児健康診査の受診率 100% (H30年度実績 99.2%)</li> </ul>

※施策の内容の【新】は、令和5年度改訂において新たに掲載した事業

## （2）学びの環境づくり

- 子どもの基礎学力の定着を図るため、学力に応じたきめ細かな指導、効果的な学習を推進する。
- 子どもの心の悩みに早期に対応できる相談体制を充実し、学校、家庭、地域がともにいじめや問題行動の防止及び子どもの自己肯定感の醸成に取り組む。
- 本市に対する愛着を高め、定住やUターンにつなげるため、郷土愛を育む教育を実施する。
- グローバル人材育成のため、英語教育を充実する。
- ICTを活用し、効果的な学習ができる環境を整備する。
- 子どもが基本的な生活習慣や社会規範を身につけるよう、家庭での教育力を向上する。
- 子どものころから家族を持つ大切さ、素晴らしさについて普及啓発を行う。
- 子どもたちの勤労観及び職業観の育成促進を行う。
- 変化の激しい予測困難な時代を生きるために必要な資質・能力の育成を図る教育を実施する。
- 学校と地域、保護者との連携を強化し、地域とともにある学校づくりを推進する。
- 教員が意欲的に働くことのできる環境を整備する。

具体的な施策	施策の内容	K P I (重要業績評価指標)
子どもたちの学力定着、たくましい子どもの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員 O B や学生等を活用した補充学習の実施</li> <li>・ チームティーチング指導員、学習サポーターの配置</li> <li>・ 家庭学習ノートカバーの作成</li> <li>・ A L T (外国語指導助手) や外国語活動指導員による英語指導の充実</li> <li>・ 体力向上事業、様々な体験活動、芸術文化へのふれあい事業の実施</li> <li>・ 家族の大切さを学ぶ機会の充実</li> <li>・ I C T を活用した教育の推進及び環境整備</li> <li>・ 統合型校務支援システムの活用等によるスマートスクールの推進</li> <li>・ 部活動指導員の配置促進</li> <li>・ <b>【新】</b> 学校部活動の段階的な地域移行の推進</li> <li>・ 図書館への電子図書の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭学習の 1 日当たり時間が「10 分間×学年」以上の児童・生徒の割合</li> <li>小学校 100%</li> <li>中学校 100%</li> </ul> <p>(H30 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 88.2%</li> <li>中学校 68.3%</li> </ul>
郷土愛を育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新湊博物館における郷土の歴史・民俗・文化の発信拠点づくり</li> <li>・ 孫とおでかけ支援事業の実施</li> <li>・ 「社会に学ぶ『14 歳の挑戦』」活動の充実</li> <li>・ 子どもたちに郷土の良さを紹介する市政出前講座の開催</li> <li>・ 市内企業経営者によるふるさと職業教育の実施</li> <li>・ 市内企業と連携した子ども向け職業体験の実施</li> <li>・ 獅子舞・曳山等、地域の指導者からの伝統的行事の継承</li> <li>・ ふるさと学習副教材「わたしたちの射水」等を活用した学習の推進</li> <li>・ いみず鳳雛きらめき塾、いみず夢づくり授業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の行事に参加している児童・生徒の割合</li> <li>小・中学校で増加</li> </ul> <p>(H30 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 79.3%</li> <li>中学校 61.2%</li> </ul>
それぞれの子どもに寄り添った教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒サポートネットワーク連絡協議会の開催</li> <li>・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置</li> <li>・ 専門アドバイザー等のサポートチーム編成による支援体制の充実</li> <li>・ 特別な配慮を要する児童生徒への支援</li> <li>・ I C T を活用した学級復帰支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不登校児童・生徒数</li> <li>小・中学校で減少</li> </ul> <p>(H30 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 32 人</li> <li>中学校 63 人)</li> </ul>

家庭や地域における教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室、土曜学習推進事業の実施</li> <li>・いみず親学びスクールの実施</li> <li>・じいちゃんばあちゃんの孫育て談義の開催</li> <li>・家庭教育アドバイザースキルアップ研修会の開催</li> <li>・子育て井戸端会議の開催</li> <li>・親学び講座の推進</li> <li>・あったか家族応援プロジェクト事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数 1,100人 (H30年度実績 994人)</li> </ul>
----------------	---	--

※施策の内容の【新】は、令和5年度改訂において新たに掲載した事業

## 基本目標2 地域のしごとづくり

### 1 施策の基本的方向

産学官金の交流や連携を深めることで、新たな事業分野の開拓や技術開発を促進し、新規事業の展開や経営基盤の強化を図る。

国際拠点港湾伏木富山港の中核を担う富山新港や北陸自動車道小杉インターチェンジ等、物流を担う大型インフラを要する本市の強みを生かし、引き続き幅広い業種の企業誘致に取り組むため、新たな企業団地を造成するなど、国や県とも連携を図りながら、魅力ある安定した雇用の創出・確保に努める。

持続可能な農林水産業を推進するとともに、地域の特色を活かしたバイオマス産業、サクラマスの養殖等、今後も農・漁・商・工の連携強化による6次産業化を進め、地元産材を活かした付加価値商品を創出し、地域経済の活性化を図る。加えて、本市の特産品を使用した射水ブランドの開発や育成を支援し、様々な媒体を活用して全国に射水ブランドを発信し、地域イメージの向上を図る。

若年層の人材の獲得や定着、外国人材の活用をはじめ、働く意欲や能力のある女性や高齢者が活躍し生き生きと働き続けるため、就労者の様々なニーズに対応し、心身の健康が維持できる働きやすい就業環境の整備を図るとともにワーク・ライフ・バランスの推進を啓発する。

数値目標	基準値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
雇用創出数(年間求人数)	10,217人	11,000人
6次産業化推進事業件数(累計)	1件	3件

SDGsにおける目標	    
------------	--

## 2 具体的な施策とKPI（重要業績評価指標）

### （1）地域産業活性化、新産業の展開

- 企業立地優遇制度の充実を図り、企業団地への企業誘致を推進し、若者の就職希望をかなえるため、製造業だけでなく、幅広い業種の受入れを行う。
- 創業や経営課題解決に向けた事業を実施し、商工業活性化と経営基盤の強化を図る。
- 豊かな自然で育った射水産食材の商品開発を推進し、その商品及び特産品をeコマース<sup>12</sup>等により販売することで販路を拡大する。
- 意欲のある農林漁業者等が主体となって6次産業化に取り組めるよう、富山6次産業化サポートセンターを活用した支援を行う。
- アグリテックバレー構想<sup>13</sup>を推進し、地域農業×地域産業の産業クラスター形成を図る。
- 産学官金連携により、新たな技術や付加価値を創造する。
- IoTや5G等の情報通信技術を活用し、産業の活性化や魅力的な仕事の創出を図る。
- シェアキッチンやキッチンカー等を活用し、新たな創業支援を行う。
- 農林水産業の担い手の育成・確保する取組や環境に配慮した生産活動を支援する。

具体的な施策	施策の内容	KPI（重要業績評価指標）
企業誘致の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業立地優遇制度の充実</li> <li>・市内企業間の連携、情報交換</li> <li>・企業動向調査の実施</li> <li>・市内企業の拡張計画調査の実施</li> <li>・企業の本市への拠点化強化</li> <li>・県と連携した政府関係機関の誘致</li> <li>・新たな企業団地、商業地の形成</li> <li>・サテライトオフィス等の開設を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業団地分譲率 100%</li> <li>(H30年度実績 97.6%)</li> </ul>
創業や意欲のある企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗、工場等のマッチングサイトの設置や事業承継支援の促進</li> <li>・商業・サービス業の商店街等への新規出店を支援</li> <li>・創業、経営革新、事業承継等に必要な専門家活用支援事業の実施</li> <li>・県外、国外での展示会や商談会への参加を支援</li> <li>・創業支援事業の実施</li> <li>・インキュベーション施設への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援事業補助金年間利用件数 20件</li> <li>(H30年度実績 15件)</li> </ul>

<sup>12</sup> eコマース：インターネットを通じて商品の売買契約を交わしたり決済を行ったりすることの総称

<sup>13</sup> アグリテックバレー構想：「アグリテック」とは、農業（アグリカルチャー）とテクノロジーを掛け合わせた造語。農業者と企業の結びつきにより地域を活性化させる構想

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異業種交流展示会への出展</li> <li>・シェアキッチンやキッチンカーを活用した創業支援の実施</li> </ul>	
産学官金連携による共同研究、学术交流の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官金連携交流会・講演会の開催</li> <li>・学術研究機関と企業による共同研究の実施</li> <li>・融資制度を通じ、企業への円滑な資金供給を支援</li> <li>・金融機関主催のセミナー等での連携や情報発信</li> <li>・新商品・新技術等開発支援事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官金連携共同研究の年間件数 15 件 (H30 年度実績 14 件)</li> </ul>
射水ブランド商品開発支援、情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・射水産食品のブランド商品開発・育成</li> <li>・アンテナショップ(いきいき富山館、日本橋とやま館)での情報発信</li> <li>・射水ブランドの情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数 7 件 (H30 年度実績 1 件)</li> </ul>
6次産業化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山6次産業化サポートセンターを活用した支援</li> <li>・地域バイオマスの利活用</li> <li>・養殖サクラマスのブランド化</li> <li>・【新】水産エコラベル取得の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖サクラマスの年間出荷数 40,000 尾 (H30 年度実績 17,200 尾)</li> </ul>
情報通信技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I o T、5 G等利活用によるDX<sup>14</sup>の推進</li> <li>・I T等活用支援事業の実施</li> <li>・【新】DXセミナーやDX個別相談会の実施</li> <li>・キャッシュレス化の推進</li> <li>・【新】スマート農業・漁業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I T、I o Tを活用して生産性向上に取り組む事業者の割合 30% (H30 年度実績 なし)</li> <li>・テレワークを実施している企業数 増加 (R2 年度実績 ー)</li> </ul>

※施策の内容の【新】は、令和5年度改訂において新たに掲載した事業

## (2) 安心して働ける雇用環境の整備

○ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発により、誰もがやりがいや充実感を持って働くとともに、家庭・趣味・地域活動などの時間を心豊かに過ごすことができる生活の形成を促進する。

○市民アンケート調査では、職場環境について「休暇を取りにくい」、「残業が多い」、「会社の休日が少ない」などの意見が多く見られることから、職場における意識改革を啓発する。

<sup>14</sup> DX：デジタル・トランスフォーメーション。デジタル技術を浸透させることで新しい価値を生み出し、人々の生活をより良いものへと変革すること。

○農林水産業、商業、福祉などの分野における人材確保に対する支援や、合同企業説明会の開催など人材不足、担い手不足を解消するための取組を行う。

具体的な施策	施策の内容	K P I（重要業績評価指標）
ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業状況調査の実施</li> <li>・企業へのワーク・ライフ・バランスの普及啓発</li> <li>・在宅勤務など多様な働き方の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間労働の削減に取り組む事業者の割合 65% (H30 年度実績 56.3%)</li> </ul>
勤労者の福利厚生充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労者の融資制度貸付預託</li> <li>・未組織勤労者融資保証料助成</li> <li>・中小企業退職金共済契約掛金補助</li> <li>・福利厚生施設設置企業への支援</li> <li>・勤労者福利厚生互助会への加入促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業退職金共済加入者数 4,200 人 (H30 年度実績 3,759 人)</li> </ul>
人材確保に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業の県外での合同企業説明会の参加支援</li> <li>・【新】市内企業等の求人動画制作に対する支援</li> <li>・専門人材就学資金に関する支援の実施</li> <li>・障がい者雇用奨励金</li> <li>・リカレント教育<sup>15</sup>やリスキリング<sup>16</sup>等の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保充足数 1,650 件 (H30 年度実績 1,601 件)</li> </ul>

### 基本目標3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり

#### 1 施策の基本的方向

本市には、映画やドラマのロケ地として注目される内川周辺や観光客入込数が県内で上位の海王丸パークを中心とした射水ベイエリアをはじめ、魅力ある観光拠点多くある。観光拠点のブラッシュアップによるさらなる魅力の発信に加え、新たなスポーツ施設の整備により、交流人口及び関係人口の創出を図る。また、対象者（ターゲット）の明確化を図り、移住・定住に関する支援の充実や情報提供を行うことで、U I J ターンを促す。

あいの風とやま鉄道や万葉線、コミュニティバス等、地域の暮らしを支える公共交通の利便性の向上に努め利用者数の増加を図るとともに、新たに電動カートや電気自動車等を導入し、多様な主体の連携による地域活性化や賑わい・交流を創出する。

多くの高等教育機関が立地しているという強みを生かし、若者が参加するまちづくりを進め、若者の定着や関係人口の創出を推進する。

<sup>15</sup> リカレント教育：個人が社会に出てからも生涯にわたって学習と諸活動を交互に行うことができる教育システム

<sup>16</sup> リスキリング：DX 等、時代の変化に対応し業務を進めるための必要なスキルを習得すること



数値目標	基準値(平成 30 年度)	目標値(令和 6 年度)
純移動数(転入者数-転出者数)	H26~H30の5年間の統計実績△164人	5年間で0人(均衡)
射水市観光ホームページ閲覧数	332,298件	600,000件

SDGsにおける目標	    
------------	--

## 2 具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)

### (1) 移住・定住への支援

- 移住に関する情報発信を行い、体験ツアーの実施等を通じて、本市の魅力を実感してもらい、短期滞在を通じて、移住・定住へとつなげる仕組みを構築する。
- 特色ある幼児教育・保育の推進等により、子育て世帯の移住・定住の促進を図る。
- 市が指定する住宅団地の宅地取得支援を行い、定住の促進を図る。
- 空き家対策を総合的かつ計画的に推進するため、「空家等対策計画」に基づき、空き家の活用、流通の促進を図る。
- 住宅に関する様々な問題をワンストップで対応できる相談窓口を定期的に開設することにより、空き家の増加を抑制する。

具体的な施策	施策の内容	KPI(重要業績評価指標)
移住交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと回帰支援センター(東京・大阪)での情報発信</li> <li>・地域おこし協力隊を活用した移住コーディネーターの配置</li> <li>・富山県や県定住コンシェルジュ等と連携した移住体験ツアーの実施</li> <li>・空き家バンク等を活用した県内外からの移住者への住宅支援</li> <li>・移住促進イベント開催への支援</li> <li>・地域のしごとづくりと連携した定住促進施策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住施策を活用して市外から移住した延べ人数 100人(H30年度実績 88人)</li> </ul>
住宅支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市指定宅地取得支援、若者世代に対する家賃補助、転入を契機とした新築住宅等の取得支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定宅地における住宅建築率 50%(H30年度実績 41.9%)</li> </ul>

住宅相談・住まい情報の提供	・住宅相談窓口を毎月実施	・住宅相談窓口年間相談数 45 件 (H30 年実績 36 件)
空き家の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の活用に向けた民間団体等との連携</li> <li>・空き家を地域活性化施設等に活用するための支援</li> <li>・空き家相談体制の整備</li> <li>・空き家情報バンクの充実</li> <li>・空き家を活用したシェアハウス等による定住促進</li> <li>・空き家解体、跡地購入及び新增築に係る補助の実施</li> <li>・空き家等を活用したサテライトオフィス等の開設</li> <li>・【新】重点区域における空き家の適正な管理・除却とエリア活用の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の有効活用支援延べ件数 3 件 (H30 年度実績 1 件)</li> <li>・空き家情報バンクへの登録件数 40 件 (H30 年度実績 36 件)</li> </ul>

## (2) 人を呼び込む仕組みづくり

- 観光客入込数が多い射水ベイエリアと他地区の観光地を巡回するバス路線を整備し、映画ロケ地を活用した情報発信を行う。
- 映画やテレビドラマのロケ地等、観光資源のブラッシュアップによるリピーターの獲得や射水市に愛着を持つ関係人口を創出する。
- 全国でも珍しい昼セリ見学等や鰻絵の製作体験環境を整備し、体験型観光を推進する。
- 集客力のあるスポーツ施設を整備し、射水ベイエリアの観光資源と連携を図り、交流人口の拡大、市民の健康づくりを推進する。合宿の誘致や大規模な大会の開催により、滞在の長期化を目指し、地域経済の活性化を図る。
- 宿泊施設の誘致に取り組み、滞在型観光の定着を図る。
- スポーツに親しめる環境を充実し、全国の舞台で活躍できる選手の育成強化を図る。

具体的な施策	施策の内容	K P I (重要業績評価指標)
観光資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・射水ベイエリアと他地区観光地を巡る周遊バスの運行</li> <li>・クルーズ船の誘致に向けた取組の実施</li> <li>・曳山格納庫の定期的な公開と、曳山情報の発信</li> <li>・ロケ地巡りツアーの実施</li> <li>・観光ボランティアの育成・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロケ地 (川の駅) 年間来訪者数 50,000 人/年 (H30 年度実績 45,835 人/年)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・射水ベイエリアの魅力を高める取組</li> <li>・昼セリ見学、かまぼこづくり、陶芸、饅絵、絵本等の製作体験環境の提供による体験型観光の推進</li> <li>・観光案内の充実、映画ロケ、コンベンション等支援など、観光情報発信の強化</li> <li>・VTuber<sup>17</sup>による情報発信</li> <li>・観光アプリによる情報発信</li> <li>・市にゆかりのある方による市の魅力・情報発信</li> <li>・インバウンド誘客の強化</li> <li>・クロスベイ新湊を活用したイベントの開催</li> <li>・地域のまちづくり団体とのイベント開催</li> <li>・道の駅新湊のリフレッシュ及び周辺整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海王丸パーク周辺年間入込数 1,850,000人/年 (H30年実績 1,767,400人/年)</li> </ul>
関係人口の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市出身者で構成されるゆかりの団体との交流促進</li> <li>・全国で活躍する、市にゆかりのある方との交流促進</li> <li>・県外での射水ファン獲得に向けた取組</li> <li>・LINEアプリを活用した情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に射水市にふるさと納税をした人数 320人/年 (H30年度実績 295人/年)</li> <li>・市公式LINEアカウント友だち数 25,000人 (R2年実績 ー)</li> </ul>
スポーツによる交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・射水ベイエリアの観光資源と連携したスポーツ施設の整備</li> <li>・サイクリングコースのPRやイベント開催</li> <li>・フットボールセンターの整備及びセンターを<u>活用したイベント等の開催</u></li> <li>・スポーツ合宿の誘致</li> <li>・<b>【新】</b><u>プロスポーツに触れる機会の創出と環境整備</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フットボールセンターの年間利用者数 60,000人/年 (H30年度実績0人/年)</li> </ul>

※施策の内容の【新】は、令和5年度改訂において新たに掲載した事業

<sup>17</sup> VTuber : 「You Tube」等の動画投稿サイトに動画を投稿するユーチューバーの一種で、3DCGで作られた架空のキャラクターのこと。

### (3) 快適な交通環境の整備

- 通勤、通学や生活利便施設などへの移動等の利便性を高めるため、デジタル技術を活用し、市内各地区を結ぶ、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークを構築する。
- 広域ルート<sup>18</sup>の検討やアテンダントの設置等に取り組み、公共交通の利便性を向上する。
- 生活路線に観光振興の視点を取り入れた2次交通の確保を推進する。

具体的な施策	施策の内容	K P I (重要業績評価指標)
コミュニティバス、デマンドタクシー運行の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤・通学快速便の検証、拡大</li> <li>・コミュニティバスのルート及びダイヤの見直しの実施</li> <li>・<b>【新】</b><u>AI オンデマンドバスの導入や自動運転バス等の多様な交通モードの導入</u></li> <li>・地域の実情に応じた多様な交通手段の整備</li> <li>・コミュニティバスのキャッシュレス化の導入、広域的な連携</li> <li>・モビリティ・マネジメント<sup>18</sup>の推進</li> <li>・交通結節点でのアテンダントの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバス等乗車人数 450,000人/年</li> <li>(H30年度実績 418,572人/年)</li> </ul>
2次交通の充実、駅周辺の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万葉線へのICカードの導入</li> <li>・公共交通ターミナルの有効活用</li> <li>・小杉駅及び越中大門駅のパークアンドライド(長距離用無料駐車場含む)の推進</li> <li>・鉄道駅から観光地点を結ぶバスの運行</li> <li>・電動カート・電気自動車等の活用</li> <li>・レンタサイクル、シェアサイクルの導入及びサイクルステーションの設置</li> <li>・小杉駅周辺の再開発</li> <li>・交通結節点等におけるバリアフリー化の推進</li> <li>・<b>【新】</b><u>市内における宿泊客や飲食店利用者の移動利便性の向上</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万葉線乗車人数 1,200,000人/年</li> <li>(H30年度実績 1,192,041人/年)</li> <li>・小杉駅、越中大門駅の乗車人数 1,600千人/年</li> <li>(H30実績 1,558千人/年)</li> </ul>

※施策の内容の【新】は、令和5年度改訂において新たに掲載した事業

<sup>18</sup> モビリティ・マネジメント：過度に自動車に頼る状態から公共交通や自転車等を併せて利用するよう自発的に転換することを促す取組

#### (4) 高等教育機関等と連携した若者定着促進

- 高等教育機関や企業等と連携を図り、就職相談や就職支援体制を強化し、学生等の能力や適正に応じた就職マッチングや地元へのU I Jターンを促進し、若者の市内定住を推進する。
- 奨学資金制度の充実や金融機関と連携した経済的支援などを行い、若者の市内への就職を促進する。
- 市内外の学生による地域課題の解決や地域活動を通じた射水市への愛着の醸成を図り、学生の市内定着を促進する。
- 学生間の交流や学生が主体的に地域活動に参画する仕組みをつくり、学生のまちづくりを促進するとともに、学生が地域づくりの一役を担える環境を整備する。
- 学生の市内定着を促す新たな支援制度を創設する。

具体的な施策	施策の内容	K P I (重要業績評価指標)
高等教育機関、企業等と連携した学生の市内就職及び定着への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生企業訪問支援事業の実施</li> <li>・I o Tを活用した市内企業の合同企業説明会の実施</li> <li>・若手社員の職場定着率を向上させるための支援</li> <li>・市内企業の県外での合同企業説明会の参加支援</li> <li>・市内企業、金融機関等と連携した民間奨学金などUターン支援策の実施</li> <li>・Uターン対策に効果のある奨学資金制度の充実 「明日の射水を担う若者定住助成金」の活用</li> <li>・フィールドワークや地域課題解決型学習の場の提供</li> <li>・インターンシップの受入れ・拡大</li> <li>・市内に定住し市内企業に就職する高等教育機関の学生に対する支援</li> <li>・市内に定住したいという機運の醸成</li> <li>・市内高等学校と連携したUターンや定住支援策等の実施</li> <li>・【新】学生の起業への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業に就職したい学生の割合 70% (H30年度実績 50.7%)</li> <li>・学生訪問支援事業の参加学生の満足度 98.5% (H30年度実績 97.2%)</li> <li>・合同企業説明会の年間学生参加数 90人/年 (H30年度実績 18人/年)</li> </ul>
学生の地域活動への参画機会充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内高等教育機関の学生による学生会議の実施</li> <li>・学生間の交流イベントの実施</li> <li>・学生による地域課題解決に向けた取組の実施</li> <li>・学生の意見を政策に反映するためのコンペの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>まちづくりに参画した学生・生徒の数 503人</u> <u>(R4年度実績 437人)</u></li> </ul>

	・在学中や卒業後も県内外で射水市の魅力を発信してもらい射水ファンの獲得と継続的に情報交換できる場の提供	
新しい学びの場の創出に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【新】 高等教育機関等の誘致</li> <li>・【新】 学びの地域拠点、研究フィールドの場の創出</li> <li>・【新】 高等教育機関との多様な分野における連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学びの地域拠点の設置数2件 (R4年度実績-件)</li> </ul>

※施策の内容の【新】は、令和5年度改訂において新たに掲載した事業

## 基本目標4 安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

### 1 施策の基本的方向

少子高齢化の進展による地域経済の縮小や地域コミュニティの機能低下など、人口減少社会にあっても持続可能なまちづくりを進めるため、公共施設の適正配置や既存ストックの戦略的な維持管理をはじめとした行財政改革に取り組むとともに、多様化する市民ニーズに対応するため、行政の効率化にあわせ、とやま呉西圏域連携中枢都市圏による広域的なまちづくりを進め、市民が暮らしやすい生活環境を整備する。

また、これまで他市に先んじて取り組んできた市民協働の土壌を生かし、多くの市民が参画し、誰もが活躍できるまちづくりを進め、活力ある地域社会を形成する。

数値目標	基準値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
地域の支え合い体制の推進地域数	15 地域	27 地域
まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	45.5%	50%

SDGsにおける目標					
------------	---	---	--	---	---

### 2 具体的な施策とKPI（重要業績評価指標）

#### (1) 安全・安心で持続可能な暮らしの創造

○市民が地域で安心して暮らしていけるよう、市民病院を中心とした地域医療体制の充実を図り、特色ある医療の提供を推進する。

- 市民の安全・安心を実現するためのハード整備をはじめ、身近な地域の防災力を高めるため、地域の防災士や消防団員の必要数を確保するとともに、関係機関との協定締結により、災害時の医療救護に関する支援体制を強化する。
- 資源循環型社会の実現に向けた事業に取り組み、持続可能なまちづくりを推進する。
- 人口減少と少子高齢化の急速な進展が予想される住宅団地の再生に取り組む。
- 誰もが安全で快適に移動できるよう、バリアフリーのまちづくりに取り組む。
- 気候変動が影響しているものと考えられる異常気象への対応を図るため、ハード・ソフト両面で環境整備に取り組む。
- ゼロカーボンシティの実現に向け、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入を促進し、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。

具体的な施策	施策の内容	K P I（重要業績評価指標）
医療体制の充実と質の高い医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内医療機関との連携強化による地域医療体制の充実</li> <li>・救急医療体制の充実と高度専門病院との連携強化（救急治療室の拡充、大学病院との連携強化）</li> <li>・在宅医療の推進、心臓リハビリテーションの実施など、特色ある医療の提供</li> <li>・地域の医療・介護・福祉機関との連携による高齢者医療の推進</li> <li>・N e t 1 1 9<sup>19</sup>緊急通報システム導入</li> <li>・医療介護多職種連携支援システム（ICTツール）活用の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合患者満足度数 4.15点 (H30年度実績 4.13点)</li> </ul>
地域の防災体制の整備、安全・安心な暮らしの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の医師会、薬剤師会などの関係機関との協定締結による応援体制の強化、拡充</li> <li>・災害時の医療救護活動マニュアルの整備</li> <li>・【新】感染症対策の推進</li> <li>・防災士資格取得支援及び防災士連絡協議会の運営支援</li> <li>・【新】地区防災計画の作成促進</li> <li>・地域を守る消防団員の確保</li> <li>・防災情報の多重化推進</li> <li>・農業用ため池の改修整備</li> <li>・防犯カメラの設置</li> <li>・バリアフリー化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士取得者延べ人数 162人 (H30年度実績 109人)</li> <li>・消防団員数 757人 (H30年度実績 707人)</li> </ul>

<sup>19</sup> N E T 1 1 9：聴覚や発話に障害がある人のためのスマートフォン等による緊急通報システム

	・国土強靱化に関する取組の推進	
低炭素・循環・自然共生による価値の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー機器の導入促進や省エネルギー住宅・建築物の普及</li> <li>・庄川・小矢部川流域におけるバイオマスの利活用に向けた西部6市の連携(もみがら、廃食用油、木質ペレット等)</li> <li>・グリーン購入<sup>20</sup>の推進</li> <li>・省エネルギーの推進</li> <li>・再生可能エネルギーの導入促進</li> <li>・【新】CO<sub>2</sub>吸収源の確保</li> <li>・資源循環型社会形成の推進(3R推進、プラスチック資源循環、食品ロス削減)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人/日当たりのごみの排出量 1,006g (H27年度実績 1,117g)</li> <li>・リサイクル率 22.1% (R2年度実績 20.9%)</li> </ul>

※施策の内容の【新】は、令和5年度改訂において新たに掲載した事業

## (2) 誰もが活躍できるコミュニティづくり

- 地域づくりを担う人材育成を推進するため、一般市民や学生向けの講座を開催するなど、まちづくりに参画することの動機付けを高め、市民との協働によるまちづくりを促進する。
- 地域振興会の担い手不足を解消し組織の基盤強化を図るため、幅広い世代の住民が地域づくりに関心を持つような仕掛けやきっかけづくりの場を提供する。
- 公共サービスの提供主体として期待されるNPO法人等の活性化を図るため、活動内容を住民に広く発信し、地域ニーズとのマッチングや活動参加に意欲のある人材の掘り起こしなどを行う。
- 多様な担い手が連携し、協働するまちづくりを推進するため、まちづくりに携わる個人、NPO法人、ボランティア団体等のネットワーク構築を促進する。
- 地域の若者がまちづくりに積極的に参加するよう、若者向けの市政出前講座を開催するなど、市政に関する情報発信を充実する。
- 誰もが住み慣れた地域で、生きがいを持ち、健康で安心して暮らし、地域において元気に活躍できるよう支援する。
- 女性が個性や能力を存分に発揮し、生き生きと暮らせる社会の実現を目指す。
- 一人ひとりの価値観や違いを認め合い、共に生きていくことができるインクルーシブな社会の実現に取り組む。
- 市民の国際理解を深めるとともに、外国人住民が円滑に社会生活を送れるよう、多文化共生の社会づくりを推進する。

<sup>20</sup> グリーン購入：製品等を購入する際に、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入すること。



○地域住民の利便性向上のため、情報通信技術の活用により、地域コミュニティにおけるDXの推進に取り組む。

具体的な施策	施策の内容	KPI（重要業績評価指標）
地域づくりの担い手育成、情報通信技術の活用による利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり人材の発掘・育成事業（射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～、射水まちづくりセミナー等）の実施</li> <li>・NPO団体を紹介するポータルサイトの運営</li> <li>・NPO団体の活動内容と地域ニーズとのマッチング</li> <li>・NPOやボランティア団体等の連携促進</li> <li>・自治会活動支援アプリ等の導入支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり講座年間受講者数 200人/年 (H30年度実績 22人/年)</li> </ul>
全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や障害の有無を問わず誰もが交流し、居場所と役割を持つ「ごちゃまぜ」のコミュニティづくりの推進</li> <li>・「生涯活躍のまち」に関する事業運営を担う中核的な法人に対する支援</li> <li>・対象者を区分しない包括的な支援の推進</li> <li>・【新】アピアランスケア<sup>21</sup>の普及・促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業運営を担う中核的法人数 2法人 (H30年度実績0法人)</li> </ul>
高齢者が健康で生きがいを持ち活躍できるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きららか射水100歳体操の実施及び地域への普及啓発</li> <li>・住民サポーター講演会等による社会参加の啓発</li> <li>・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施</li> <li>・地域支え合いネットワーク事業の推進・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な高齢者の割合 78% (H30年度実績 82%)</li> </ul>
女性活躍の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く女性のリーダー育成やネットワークづくりを目的としたセミナーの開催</li> <li>・女性の再就職、キャリアアップ等への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー受講者の満足度 80% (R3年度実績 ー)</li> <li>・女性キャリアアップ応援補助金年間利用件数 20件 (R3年度実績 ー)</li> </ul>

<sup>21</sup> アピアランスケア：医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア

多様性を認め合う共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化こどもサポートセンターの充実</li> <li>・外国人児童生徒等への支援や外国人相談体制の充実</li> <li>・119番通報時における電話通訳サービスの活用</li> <li>・【新】ペットと共生できる環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化こどもサポートセンターの年間参加者数 200人 (H30年度実績176人)</li> </ul>
-----------------	---	---

※施策の内容の【新】は、令和5年度改訂において新たに掲載した事業

### (3) 行政の効率化、連携強化の推進

- 市民との合意形成を図りながら、ゼロベースの視点から人口規模に見合った公共施設の適正配置に取り組む。
- ICTの利活用による行政サービスの情報化を推進することにより、市民サービスの向上とともに行政の業務効率化を図る。
- 市が保有するデータを様々な分野で有効に活用できるよう、データ利活用の推進に取り組む。
- マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスの利用促進に取り組む。
- とやま呉西圏域連携中枢都市圏での取組を強化し、活力ある社会経済を維持するため圏域内の都市機能の充実を図り、圏域全体の魅力を高める。
- 財政負担の軽減や適切な公共サービス維持のため、PPP（官民連携事業）に積極的に取り組む。

具体的な施策	施策の内容	KPI（重要業績評価指標）
人口減少を踏まえたストックマネジメントの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民との合意形成に向けた取組の実施</li> <li>・公共施設再配置に伴う既存市有地の活用及び売却</li> <li>・公共施設マネジメントシステムの運用</li> <li>・公共施設個別施設計画に基づく計画的な維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直しする公共施設の延べ件数 42件 (H30年度実績32件)</li> </ul>
情報通信技術の活用による利便性の向上及び行政の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>公的個人認証基盤やマイキープラットフォームを利用したマイナンバーカードの活用</u></li> <li>・インターネット検診予約の実施</li> <li>・【新】健康アプリを活用した健康増進事業の実施</li> <li>・【新】オンライン健康相談の実施</li> <li>・諸証明のコンビニ交付サービスの実施</li> <li>・自治体情報システムの標準化</li> <li>・RPA、IoT、AIの利活用推進</li> <li>・テレワーク、リモート会議等の推進</li> <li>・行政手続のデジタル化推進（押印の廃止、「書かない窓口」の導入等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICカードの多目的利用延べ業務数10業務 (H30年度実績4業務)</li> <li>・IoT活用延べ業務数15業務 (H30年度実績0業務)</li> <li>・RPA活用延べ業務数20業務 (H30年度実績0業務)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の予約管理システムの導入</li> <li>・【新】LINEアプリを活用したオンライン市役所の構築</li> <li>・【新】電子決裁システム導入によるペーパーレス化の推進</li> <li>・【新】オープンデータカタログサイトの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク活用延べ件数 360件 (R1年度実績 0件)</li> </ul>
とやま呉西圏域連携中枢都市圏の取組強化、官民連携事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略的な観光施策、地域経済の裾野拡大による圏域全体の経済成長の促進</li> <li>・広域交通ネットワークのさらなる充実や医療等の相互補完による高次の都市機能の集積・強化</li> <li>・圏域全体の生活関連サービスの向上</li> <li>・呉西地区成年後見センターの運営</li> <li>・圏域内で核となるスポーツ施設等の整備</li> <li>・民間活力を導入した施設整備及び利活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とやま呉西圏域連携中枢都市圏で取り組む事業数 33件 (H30年度実績 32件)</li> </ul>

※施策の内容の【新】は、令和5年度改訂において新たに掲載した事業